

## 【クラブ活動報告】

### 第38回 全国ロータリークラブ野球大会(甲子園)に出場

新宮ロータリークラブ  
田辺ロータリークラブ  
海南東ロータリークラブ

「野球を通じて親睦の輪を拡げよう」のテーマのもと第38回全国ロータリー野球大会が今年も5月28日から7月5日の7日間に阪神甲子園球場で開催され、全国から76クラブが参加。第2640地区からは、新宮RC(雨天中止)、田辺RC、海南東RCの3チームがそれぞれ出場しました。



この大会は、昭和53年3月に当時、阪神タイガース社長で西宮甲子園ロータリークラブの会長の今は亡き小津小次郎氏の特別な配慮によって、高校野球の聖地、阪神甲子園球場で全国のロータリーの野球チームが一同に会し、「ロータリーの友情を深め、それをロータリーの奉仕活動に繋げるようにしようではないか」との提言のもとスタートしたものです。

爾来、年を重ね44年の歳月が経過し、阪神大震災や東北大震災、最近のコロナによる中止もありましたが、歴史と伝統あるロータリークラブの親睦野球大会となりました。

田辺RCは、大会3日目の第4試合で、三重県の鈴鹿シティRCと対戦、14対5で勝利。また、海南東RCは、大会4日目の第7試合で、大阪府の大阪西RCと対戦、14対3で勝利し、ともに凱旋しました。また、新宮RCは、大会初日の第1試合に群馬県の伊勢崎南RCと対戦を予定していましたが、残念なことに雨天のため試合が中止となってしまいました。

全国ロータリー野球大会の魅力は、試合前日の前夜祭での懇親会。さらに、試合は、なんと言っても夢の甲子園球場にベンチ入りして、野球が出来ることです。室内練習場、ロッカールーム、お風呂も使えます。スコアボードには自分の名前が刻まれ、場内アナウンスされます。そして、同じ志を持つ全国のロータリアンと交流を深め、友情の汗をかくことです。メンバーが協力し、元気で楽しい試合をすることで強い絆で結ばれます。RCの野球が切欠で、入会したメンバーもあり、会員増強にも貢献できています。



田辺RCチーム



海南東RCチーム

野球を通じて親睦の輪を拡げよう